



今年度最後の図書館だより『ビタミン Book ビーク』です。新しく購入した書籍や図書委員のすすめる本などを紹介してきました。4月から3月現在で新しく購入した786冊の書籍を紹介しています。3月末までにはまだ増えますので、4月以降に紹介していきます。

ところで、笠田高校の図書館だよりはなぜ『ビタミン Book ビーク』と名前がついているのか、判明しました。先日、当時の司書の先生から教えてもらいました。

重松清さんの小説『ビタミンF』からきているそうです。『ビタミンF』は、第124回直木賞受賞作品で、初版は2000年です。この本は当時の高校生にもよく読まれていた本です。その頃の笠高の図書委員さんたちが当時の司書の先生とともに考えて、「本を読んで心にビタミンを！」という思いをこめて「ビタミンBook」と名付けたそうです。(本当は「F」からとって「Book」と読ませたかったそうですが…)

図書館だより「ビタミンBook」の歴史は長いのです。



図書委員がおすすめする本 Part6



書名:『斉木楠雄のサイ難』

著者名:麻生周一 出版社:集英社

為になる度★★ 癒やされ度★ ネタ度★★★★★ パロディ度★★★★★

あらすじ:ごく普通の高校生、斉木楠雄。しかし彼には普通ではないことが1つあった。それは「超能力者」ということであった。これは、斉木が超能力者であることによって様々なサイ難に巻き込まれるギャグ漫画。

感想:主人公の斉木が色んなことに巻き込まれ、キレのあるツッコミを入れたり、面倒くさがりながらも困っている人を助けるのが、とてもおもしろいです。特に個性豊かなキャラクターによって引き起こされる日常のやいとりなどが読みどころです。 (1B 宮本璃音)



書名:『兄の名はジェシカ』

著者名:ジョン・ボイン 出版社:あすなろ書房

泣ける度★★ 為になる度★★★★★

あらすじ:4歳年上のジェイソンは、サムサムの自慢の兄。穏やかで優しく忙しい両親にかわって小さい時からサムサムの面倒をよくみてくれた。サッカー一部のキャプテンで学校ではみんなの人気者。だけれどこの頃、少し様子が変わったみたいだ。

感想:決して簡単に解決したり理解することのできる問題ではないことを、家族4人の立場からわかりやすく誠実に時にはコミカルに描いている。家族なら受け入れてくれる…そんな簡単なものではない。

(1D 黒川日向)

第46回絵本週間(3/27~4/9)

「絵本週間」は1977年から始まりました。

生涯における読書生活を形成する、幼児・児童期の絵本読書の振興と、学校や家庭での定着を図るために設定されました。





♪新しい本がいっぱい♪



	書名	著者名	出版社	分類番号
1	ネットにおぼれない学び方(岩波ジュニア新書964)	梅澤貴典	岩波書店	002.7
2	超デジタル世界-DX、メタバースのゆくえ(岩波新書 1956)	西垣通	岩波書店	007.3
3	西洋書物史への扉(岩波新書1963)	高宮利行	岩波書店	020.23
4	「美食地質学」入門-和食と日本列島の素敵な関係(光文社新書 1230)	巽好幸	光文社	210.5
5	占領期カラー写真で読む(岩波新書1964)	佐藤洋一 他	岩波書店	210.762
6	「音楽部の都」ウィーンの誕生(岩波新書 1962)	ジェラルド・グロマー	岩波書店	234.6
7	史伝 北条政子 (NHK 出版新書 673)	山本みなみ	NHK 出版	289.1
8	転路の旅人	沢木耕太郎	新潮社	289.1
9	政治と宗教-統一教会問題と危機に直面する公共空間 (岩波新書 1957)	島蘭進(編)	岩波書店	316.2
10	さらば、男性政治(岩波新書 1955)	三浦まり	岩波書店	312.1
11	差別は思いやりでは解決しない -ジェンダーや LGBTQ から考える(集英社新書 1126B)	神谷悠一	集英社	367.1
12	ウクライナ戦争をどう終わらせるか(岩波新書 319.38)	東大作	岩波書店	319.38
13	10代が考えるウクライナ戦争(岩波ジュニア新書 963)	岩波ジュニア新書編集	岩波書店	319.38
14	法の近代(岩波新書 1960)	嘉戸一将	岩波書店	323.01
15	世界の片隅で日本国憲法をたぐりよせる(岩波ブックレット 323.14)	大門正克	岩波書店	323.14
16	古代中国の24時間(中公新書 2669)	柿沼陽平	中央公論新社	832.22
17	医の変革(岩波新書 1959)	春日雅人(編)	岩波書店	490.4
18	巨大おけを絶やすな!(岩波ジュニア新書 962)	竹内早希子	岩波書店	583.5
19	江戸藩邸へようこそ-三河吉田藩「江戸日記」(インターナショナル新書 096)	久住祐一郎	岩波書店	596.21
20	漫画 応天の門 17	灰原薬	新潮社	726.1
21	漫画 薬屋のひとりごと 8~11	ねこくらぶ	スクウェア・エニックス	726.1
22	漫画 ブルーロック 23	ノ村優介	講談社	726.1
23	漫画 葬送のフリーレン 10	アベツカサ	小学館	726.1
24	いちにち、古典-〈とき〉をめぐる日本文化誌(岩波新書 1958)	田中貴子	岩波書店	910.23
25	さっきまで薔薇だったぼく	最果夕ヒ	小学館	911.56
26	fishy	金原ひとみ	朝日新聞出版	913.6
27	朱色の化身	塩田武士	講談社	913.6
28	夢見る帝国図書館	中島京子	文藝春秋	913.6
29	凍りくじら	辻村深月	講談社	913.6
30	日々の憶測	ヨシタシシカ	光村図書	914.6
31	新版 アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	早川書房	933.7
32	戦争日記 鉛筆 1 本で描いたウクライナのある家族の日々	リカ・グレイソク	河出書房新社	986

第 168 回 芥川賞受賞作品

『荒地の家族』

佐藤厚志(著) 【913.6】



第 168 回直木賞受賞作品

『しろがねの葉』

千早茜(著) 【913.6】